

2026年1月21日

輸送動向について（2025年度第3四半期 累計）

1. 輸送概況

国内景気は、円安や原材料コストの高騰を反映した物価上昇により個人消費の回復が遅れているものの、全般的には緩やかな回復基調が続いている。なお、当社においては、前年と比べて自然災害等の影響が少なかったほか、お客様の鉄道シフトの進展等により第3四半期累計の輸送実績は前年を上回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬により前年を上回ったほか、自動車部品は、一部顧客における増送が続いたことにより増送となった。また、積合せ貨物は、ドライバー不足に伴う鉄道シフトにより増送となった。コンテナ全体では前年比104.3%となった。

車扱は、石油が、補助金の段階的な拡充に伴う買い控えにより11月はガソリンや軽油が減送となったほか、12月は平年よりも気温が高く燃料需要が減少した影響により灯油等が減送となり前年を下回った。また、亜鉛が輸送終了となった影響もあり、車扱全体では前年比97.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	3四半期計		前年比	3四半期累計 (年度累計)		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	5,060	5,122	98.8%	14,499	13,901	104.3%
車 扱	2,300	2,327	98.8%	5,947	6,104	97.4%
合 計	7,360	7,449	98.8%	20,447	20,005	102.2%

3. 品目別輸送実績表（第3四半期累計）

(単位:千トン、%)

扱別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,141	1,147	-5	99.5%
	化 学 工 業 品	1,168	1,173	-5	99.6%
	化 学 薬 品	806	810	-4	99.4%
	食 料 工 業 品	2,325	2,381	-56	97.6%
	紙 ・ パ ル ブ	1,561	1,574	-13	99.1%
	他 工 業 品	943	885	58	106.6%
	積 合 セ 貨 物	2,462	2,411	51	102.1%
	自 動 車 部 品	616	542	73	113.5%
	家 電 ・ 情 報 機 器	267	287	-20	93.0%
	エ コ 関 連 物 資	731	350	380	208.6%
	そ の 他	2,474	2,334	140	106.0%
	コ ン テ ナ 計	14,499	13,901	598	104.3%
車 扱	石 油	4,143	4,238	-95	97.8%
	セ メ ン ト ・ 石 灰 石	1,016	1,006	9	101.0%
	車 両	581	582	-0	99.8%
	そ の 他	206	277	-70	74.5%
	車 扱 計	5,947	6,104	-157	97.4%
合 計		20,447	20,005	441	102.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年12月のみ速報値、前年は確報値)